

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！4月末時点で、第3期生4名が海外留学中です！※うち2名が新型コロナウイルスの影響で一時休止中

○ほっかいどう未来チャレンジ基金第4期生の募集の中止について

令和2年4月1日から募集していましたが、ほっかいどう未来チャレンジ基金第4期生につきまして、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、本基金事業が助成を受けている国の「官民協働海外留学支援制度」の中止が発表されたことを受けて、当基金事業も留学生の円滑な留学計画の遂行が困難なことや十分な安全確保が見込めないことなどから、**全コースの募集を中止**することとしました。

今年度の新たな募集については、新型コロナウイルス感染症の状況や国（文部科学省）の動向等を踏まえ、対応を検討していきます。

○留学生たちの活動状況

学生留学コース

第3期生 石垣 のぞみさん 【留学先】ドイツ 【留学期間】2019年10月～2020年8月（11か月間）※現地で一時的に北海道農業の魅力を発信するため、持続可能な農業のあり方を考えるとともに、グリーンツーリズムを学ぶ

研修中の農場のゲストハウスでは、宿泊に来たゲストは自分でコンポストのコンテナに生ごみを捨てる仕組みをとっています。コンポストのコンテナから、十分にコンポストとして機能するもの、まだ完全に分解されていないもの、ごみ、と手作業で分別する作業を行いました。

コンポストを分別する中で大量のゴミが出ており、このゴミを取り除く作業が大きな手間となりました。一人一人の意識の低さから、多くのゲストがコンポストについて理解していないのだと実感しました。そして持続可能な社会、これはだれか一人が頑張って実現するものではなく、社会全体で目指していかなければならないのだと改めて感じました。



第3期生 有働 篤人さん 【留学先】フィンランド 【留学期間】2019年9月～2020年5月（9か月間）※一時休止で帰国 札幌を世界のデジタル観光都市にするため、先進的なゲーム制作やソフトウェア開発を学ぶ

3月上旬にオウル市でGame Audio Award 2020というイベントが行われました。このイベントは、制作したゲームの音声(音楽や効果音)に対して表彰を行うもので、2016年からオウルで開催されています。

今月には2つ目となるDEMOLAプロジェクトがスタートし、Fingersoftでの活動でも11月から制作を続けて来たプロトタイプが形になってきて、もうすぐ最初のプレーテストを行える状態になる予定でした。しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響がフィンランドにも及び始めたため、残念ながら安全確保のためここで一時帰国となりました。現在は実践活動先と協議し、活動をできるだけ完全な形で再開できるよう調整しています。



第3期生 海辺 菜々美さん 【留学先】カナダ、アメリカ 【留学期間】2019年9月～2020年3月（6か月間）※帰国済 北海道の地域資源を活かした観光振興のため、アラスカでアドベンチャーツーリズムを学ぶ

3月はパーマー市でのボランティアと地域発信プロジェクトとして、パーマー高校の日本語クラスと、今年の7月に佐呂間町とパーマー市の姉妹都市40周年を記念して佐呂間町を訪問する訪問団に向けて、佐呂間町・北海道についてのプレゼンテーションを行いました。プレゼンでは、食べ物とサロマ湖や夜景などの写真の反応がよく、札幌ではやはり、雪まつりが一番でした。終了後には、「佐呂間や北海道に行きたくなった」「将来ALTとして佐呂間町で働くのも楽しそう」との感想をいただきました。

観光において北海道は、伝統的・人気のフェスティバル、自然や美しい景色、そして何よりも豊富で新鮮な美味しい食べ物が訪問客を引き付けているようでした。また、地方は“観光”よりも“文化体験”等にフォーカスを当てて、都市部と違う魅力を発信していくのも良いと思いました。



スポーツコース

第3期生 向井原 洋平さん 【留学先】アメリカ 【留学期間】2019年7月～2020年7月（1年間） アスレティックトレーナーに必要な最新スポーツ医学の知識と技術を学び、道スポーツ界に貢献

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うアメリカスポーツ界の動きはとて迅速でした。莫大な収益を生む大学バスケットボールの全米選手権は当初、無観客での開催が検討されていましたが、統轄団体のNCAAが全ての選手権の中止を発表しました。

現在は活動休止前にリハビリ対象であった5選手に対して、1週間程度のリハビリプログラムを処方し、週に数回の連絡を取りながら非対面でのサポートを継続しています。肘の内側側副靭帯再建術後の投球プログラムが進行中であった2選手には、以前のように直接投球相手となることはできていませんが、選手の兄弟や友人を相手に継続してくれていると連絡を受けています。



文化芸術コース

第3期生 清水 柚衣 さん 【留学先】ハンガリー 【留学期間】2019年9月～2020年6月（10か月間）
ハンガリーでリスト音楽院のプログラムに参加し、演奏活動を通じ、北海道の音楽環境やレベル向上を目指す

ハンガリーでは3月11日に緊急事態宣言、3月末には外出制限令が発令されました。オンラインでの受講が可能な授業はSkypeやzoomなどを使用して継続中ですが、ピアノや室内楽といったパフォーマンスを要する科目の対応は各教授に委ねられ、私は自分の演奏の録音を先生に送り、それにアドバイスをもらうスタイルでレッスンに替えてもらっています。

現在は同じ敷地内にお住まいの大家さんご家族のために、自宅で小さなコンサートを開くことを計画中です。大勢が集まるのはリスクがあるので、大家さんご夫婦と大家さんの息子さんご家族の2回に分け、換気を行いながら30～45分程度の演奏会を開催予定です。

3月は卒業式を迎えられなかった子どもたちや、転出入や退職に伴うお別れが充分にできなかった方のために“旅立ち”をテーマに演奏した動画と、大家さんにいただいた花からインスピレーションを受けて作曲した短い自作曲の動画 (<https://youtu.be/jmy6YbjfUo>) を公開しました。



○第2期生の留学成果報告 ～R元年度に全ての基金生が帰国した第2期生の成果報告を紹介します～

学生留学コース 伊藤 昂 さん 【留学先】オーストラリア、アメリカ、オランダ 【留学期間】2018年10月～2019年8月（10か月）
スポーツビジネスを学び、北海道のテニス界の国際化に貢献

【留学概要】

オーストラリアでの語学研修後、大会の運営方法である「Fixture」を学びました。また、アメリカではIMGアカデミーを視察し、ジュニアの練習論を習得するとともに国際大会にボランティアとして参加し、大会運営を学びました。オランダでは、国際テニス連盟の考案したPLAY&STAYプログラムによりジュニアの練習方法とコーチングを学びました。

【留学を通じて感じたこと】

実際に海外で様々な物に触れ、色々な人と知り合い、異文化を受け入れ、他国・宗教観の違いを理解することで今まで抱いていた自分のイメージに縛られていた事実が気が付き、心の隅にあった固定概念が消えました。



【現在：北海学園大3年生】

【帰国後の活動・今後の目標】

北海道から世界への架け橋となるような国際大会の企画・実施

現在は、札幌の宮の森テニスクラブにて、海外で学んだ知識を織り交ぜながら指導に取り組んでいます。今後はオーストラリアで学んだFixtureを使った大会の企画や、オランダで習得したPLAY&STAYを用いたジュニアの国際テニス大会を企画し、実施をしたいです。北海道にはプロの選手が多いので、プロ選手とのイベント、練習会、チャリティー抽選会などを盛り込み、大会後には北海道ツアーパッケージなどを作り、家族で観光などを楽しめる環境づくりを考えています。

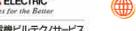
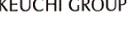
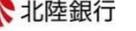
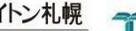
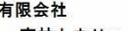
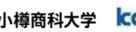
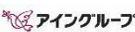
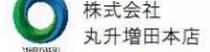
将来は、子どもたちが北海道から世界に挑戦する機会を創出すると同時に、北海道と世界の架け橋となるような、世界中から観光客が来るテニス大会を北海道で実施したいです。

帰国した基金生の活躍機会や、活用できる場の提供などございましたら、下記（総合教育推進課）に御連絡ください。



応援パートナーの皆様

(2020年4月現在・敬称略)



有末 真哉 石川 諭史 遠藤 光二 小黒 敬三 坂詰 貴司 佐藤 友昭 (税理士法人FULL SUPPORT 代表社員税理士) 鈴木 伸明
武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹 山田 義勝 その他匿名希望の個人・企業5者

北海道総合政策部政策局総合教育推進課

TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313

E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



基金生のチャレンジ風景をお届けします。

